

号(2026年)令和8年10月1日 木曜日(2)

前ページより
この後、市教育委員会文化財室の大岡弘明室長による国森家の内部構造などの説明があり、続いて市社会教育指導員の松島幸夫さんによる講演「輝く国森家の歩み」があり、国森家は、伊予の河野水軍から派生した家系、余田や新庄での営農、

柳井津への移住の経緯の概要を、要所での偉業や業績などを組み込んで説明した。特に、国森さんの祖父で柳井町長を務めた國森重衛氏は、第二次世界大戦時、私財を投げ打って戦闘機を購入して国に寄付したという話は、寄付した戦闘機の写真とともに説明され、衝撃的

だった。なお、国森家住宅は、10月から12月までの「山口デスティネーションキャンペーン」に合わせ、10月3日(土)から12月27日(日)までの火・土・日・休日の午前10時から午後4時半(入場は午後4時)まで、公開される。入館料は無料。

Bellze
ANNIVERSARY STAGE
柳井市伊保庄 2676-15
TEL.0820-23-7777

周南新報
(有)周南新報社 〒742-0021 山口県柳井市柳井4820-5
編集責任者 清神一暢
電話 0820(22)1700 FAX0820(22)6123 E-mail:shunanshinpo@feel.ocn.ne.jp 一カ月1500円 郵送1650円

全日本空手道連盟和道会
正心館
空手部員募集!!
見学・体験可
連絡先(木崎まで)
090-8718-9184

国指定重要文化財 国森家住宅、市に寄附

10月3日より無料公開

国指定重要文化財(1974年2月5日指定)の国森家住宅の寄附を受け26日、寄附者の國森重彦さん(86)への感謝状贈呈式と同家公開を前に関係者の事前説明会が柳井市古市の国森家であった。

国森家は、前身を守田家「室屋(むろや)」とい、初代通公(みちひろ)が現在の古市筋南側(現白壁通り)にあった鍛冶屋(かじや)町で手船商を営んでいたが、二代通隆(みちたか)の時、布木綿(ふきわた)など反物商を営んで財をなした。通隆62歳の

明和5年(1768年)柳井津古市に商家を買い取って移ったのが現在の国森家。「室屋」は享和3年(1803年)より手絞りともし油の製造を始め、後にびんつけ油の製造販売を産業としていた富商だった。現在の国森家は当時の本宅であったとされている。この住宅は、部改変のあとはあるが、全体の規模や構造は変えられておらず、柳井津に残る近世の商家造りの典型として重要であるとされ、1983、84年度に文化庁の指導



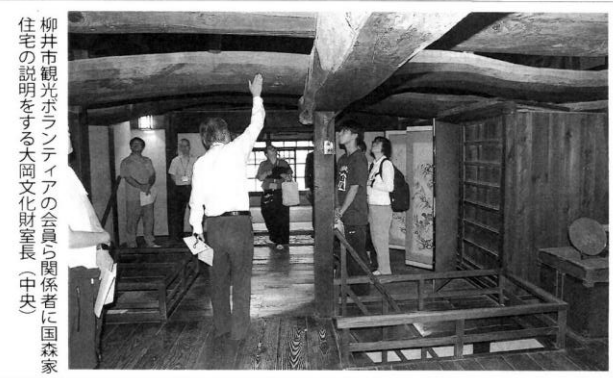
井原市長から感謝状を受ける國森さん



講演をする松島社会教育指導員

より解体修理及び正面などの復元が行われた。国森家で行われた感謝状贈呈式では、井原健太郎市長が「柳井市の国森家として後々までの建物、この暮らし、文化が継承されるよう市として最大限の力を尽くしていく。来月10月から山口デスティネーションキャンペーンという中で、本格的な一般公開は来年を予定しているが、10月3日からキャンペーンに合わせて公開するので、今日出席の関係者の

次ページへ



柳井市観光ボランティアの会から関係者に国森家住宅の説明をする大岡文化財室長(中央)